

## 会社概要

(2016年3月31日現在)

商号	中央化学株式会社
設立年月日	1961年1月30日 (創業 1957年)
資本金	62億1,275万円
決算期	3月31日
従業員数	2,162名(連結)

## 役員一覧

(2016年6月28日現在)

代表取締役社長	水野 和也
代表取締役	森本 和宣
取締役	中井 正
取締役	藤木 洋
取締役	近藤 康正
取締役	杉岡 伸也
取締役	松本 吉雄
常勤監査役	大吉 正人
監査役	山口 吉一
監査役	鳥居 真吾
監査役	中村 竜一

## 株式情報

(2016年3月31日現在)

### 株式の概要

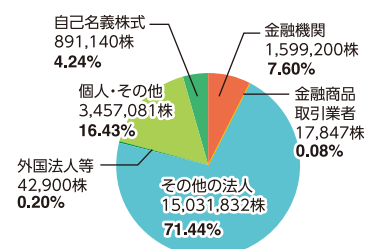
発行可能株式総数	40,000,000株
発行済株式の総数	21,040,000株
株主数	859名

### 株主メモ

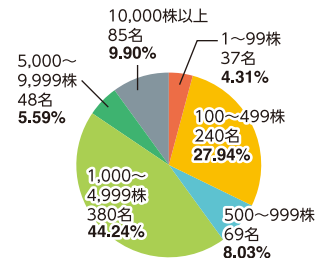
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所 (JASDAQスタンダード)
公告の方法	電子公告 <a href="http://www.chuo-kagaku.co.jp/">http://www.chuo-kagaku.co.jp/</a> (ただし、電子公告によることができない事故、 その他のやむを得ない事由が生じたときは、 日本経済新聞に公告いたします。)

株主構成 ※2016年3月31日現在の株主名簿上での名義で記載しております。

### ●所有者別株式分布



### ●所有株式数別株主分布



安心を、いつも中央に。

# 株主通信

## 第56期 決算報告

2015年4月1日▷2016年3月31日



### ◆トップメッセージ

株主の皆様へ

### ◆トピックス

- ・C-APGシリーズ
- ・2016春の商談会
- ・東北営業部移転

### ◆中国事業

### ◆新製品紹介

- ・なごみ
- ・Sail

[証券コード: 7895]

中央化学株式会社

中央化学株式会社



Top Message

## トップメッセージ



## 株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、日頃より当社グループへのご理解とともに格別のご支援を賜り、誠にありがとうございます。ここに、当社第56期の株主通信をお届けします。

食品包装容器業界における市場環境は依然として厳しく、消費者の節約志向・低価格志向が継続しています。しかし一方で、外食や中食の利用は増加傾向にあり、食品容器の新たなニーズ・用途も拡大しています。また、プラスチックの原材料価格は今のところは軟調に推移しておりますが、原油価格や為替の変動というのは避けようがなく、そのリスクを踏まえながら、原材料価格の変動を吸収し安定的な収益確保ができる経営体質の強化に努めて参りました。当連結会計年度の業績は前年を上回り、ようやく黒字化に至りました。しかしながら、これらは収益改善へのワンステップにすぎません。収益力強化へ向けての足場固めの為に、インフラ整備等の投資も急務となっており、誠に遺憾ではございますが本決算における配当は見送りとさせていただきます。株主の皆様のご期待に沿えず謹んでお詫び申し上げます。

2016年3月期を振り返って  
地産地消・地域貢献への取り組み

昨年11月に、東日本大震災と東京電力福島第一原発事故の影響で操業を停止していた東北工場を再開しました。1日も早くとの想いもありましたが、経済活動の基盤となる各種インフラの整備を待つ必要もあり、また当社の製品を必要としてくれるマーケットの復興、さらに除染や工場の修繕など、再開への準備は一朝一夕にできることではありませんでした。その結果、4年7カ月という時間がかかりましたが、ようやく工場再開に至り、地元の皆様や東北地方のお客様方にも歓迎していただき、大変励みになっております。東北工場は、東北及び北関東一円を配送範囲としております。以前はPSP（ポリスチレンペーパー）の汎用品大量生産に主眼をおいた工場運営でしたが、今後は地産地消、地域貢献というコンセプトで、まったく新しい気持ちでマーケットに向き



合いたいと考えています。

また、地産地消、地域貢献というのは東北工場の運営に限ったことではありません。

当社はプラスチック製食品包装容器の3R（リデュース、リユース、リサイクル）に取り組んでいますが、食品包装容器のリサイクルは、出来るだけ回収した地域の中でリサイクルする地域循環の仕組み作りを目指しています。生産・消費（使用）・回収（リサイクル）を地域という観点から捉え、地域循環が可能な地域についてはより主体的・積極的に取り組んで参ります。





### プレゼンテーションだけではない 自らが学ぶ商談会

今年春には東京からはじめ、大阪、名古屋、福岡で「2016 中央化学 春の商談会」を開催しました。東京会場では、自社内で行っていた昨年の商談会に比べ約3倍の広さをとり、ゆったりとしたスペースを活かして製品のコンセプトをロジカルに提案することができました。来場者から「面白かった」とか「楽しかった」というコメントもいただきましたが、商談会で製品のプレゼンテーション以上に重要なのは、ご来場されるお客様との対話です。当社の直接的なお取引先は、包装資材の販売店様や食品包装容器に食材を入れて商品化し販売するユーザー様で、いわゆる

B to Bビジネスですが、その先のお客様である一般の消費者=マーケットに共に向き合うB to Cビジネスとも言えます。消費者の意見や要望はお客様との対話を通して我々も共有化できるもので、マーケットに向き合うにはお客様との対話は欠かせません。

商談会では営業担当者だけではなく、製品の企画担当者や、開発に関わっている技術者も説明に当たりました。直接お客様と対話することで、マーケットのニーズを確認すると同時に、自分の考えや自分が作ったものがマーケットに適合しているかどうか、客観的に理解できるようになります。商談会は、自らの学びの場としても大きな意義がありました。

### マーケットと対話し、変化を先取りする

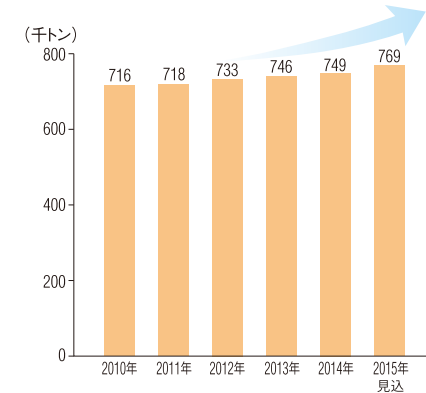
食品包装容器市場は、少なくともここ数年は縮小はしないといわれています。しかし、マーケットは変化し、ニーズはより細分化されると考えられます。地域や業態による相違も大きくなるでしょう。人口動態が変化しビジネスモデルも変わっていく中で、メーカーとして当社独自の考えを持つことも大切ですが、それ以上に重要なのは、マーケットが必要としているものを知ることです。目の前にいるお客様は、その先にいる消費者のニーズに対してどのような提案をしようとしているのか、必要としているものは何か、我々はどのように貢献できるのか、それ

を知るためにも対話は必要です。今後は逐次、複数の営業拠点にショールームとしての機能を持たせ、お客様との対話、ひいてはマーケットとの対話の機会を増やし地域に深く入り込んでいきたいと考えます。

中国市場はまだ収益向上、規模拡大の可能性がありますが、その分、新規参入も多く競争が厳しい環境にあるといえます。日本品質に対する信頼度、評価の高さは強みですが、今後どのようにニーズが変化していくか、やはり、マーケットを知り、その動きを先取りしていく必要があるでしょう。

コスト削減、効率化、社内構造改革などを押し進め、その成果も見えてきました。さらなる成長戦略を突き進んでゆく所存です。株主の皆様には、今後も引き続きご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

### プラスチック軽量容器市場規模推移



出所：矢野経済研究所レポートや、日本フランチャイズチェーン協会、富士経済、農林水産省、日本冷凍食品協会などの公表情報より作成

中央化学株式会社  
代表取締役社長

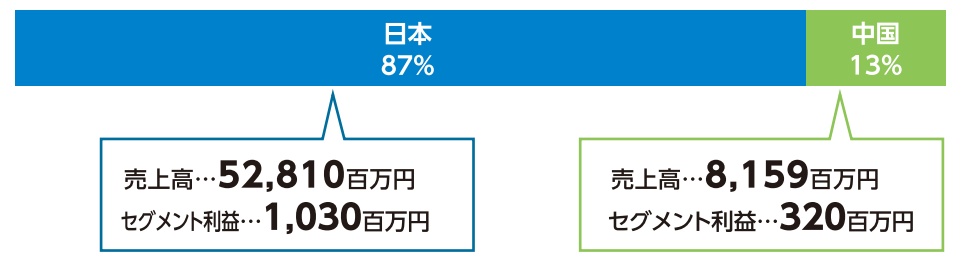
水野和也

## 連結決算ハイライト

### ● 業績の概要



### 売上構成比(連結消去前)

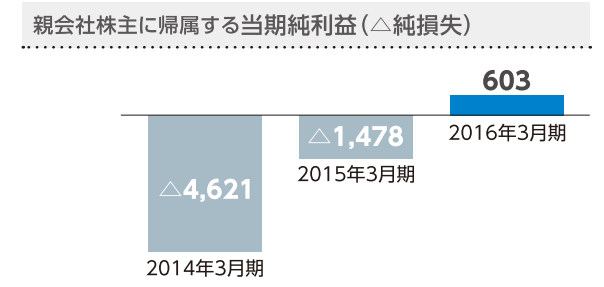
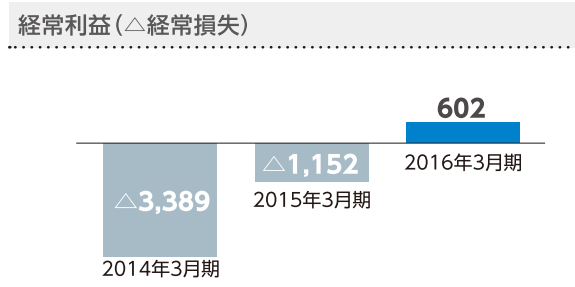
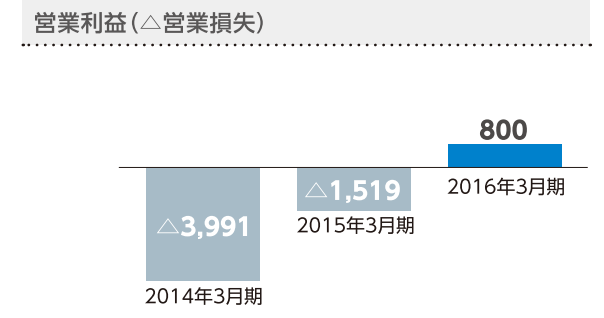
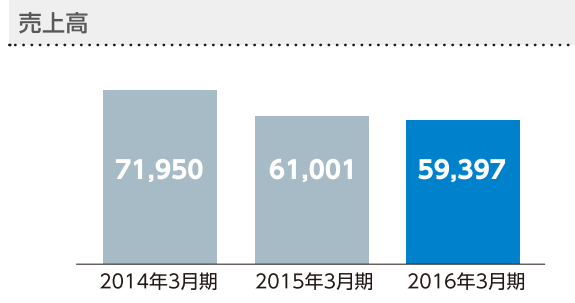


当食品包装容器業界と極めて関連性の深い一般消費財市場においては、実質賃金の伸び悩みなどの要因から、依然として消費者の消費マインドを大きく変えるまでには至らず、消費者の節約志向・低価格志向傾向が続いております。一方、原油価格が引き続き低水準で推移したことから、当社が使用するプラスチック原材料価格は、当連結会計年度においては、前連結会計年度比で低下し、当社収益改善の一因となりました。このような状況下、当社グループの国内では、生産面において、2015年11月から東北工場を操業再開し、旺盛な高機能容器需要への対応ならびに東北地区での地産地消を進めております。営業面においては、予て推進しております得意先様との連携強化に一層注力するとともに、2016年2～4月に全国4会場で「春の商談会」を開催、当社が目指すトータルコーディネーションを提案し、多くの来場者にご好評をいただきました。

中国においては、不動産市場の低迷を背景として、経済成長の減速感が見られるものの、個人消費には未だ陰りは見られず堅調に推移しました。食品包装容器関連の市場においては、安全・安心な当社グループ製品に対する市場の期待感は引き続き高く、付加価値の高い新素材、新製品の開発上市や新市場の開拓などにより増益することができました。

### ● 収益の状況(連結)

単位:百万円

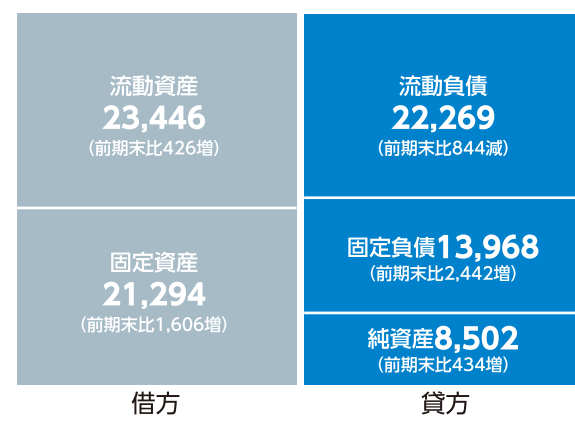


※2014年3月期は15カ月決算となります

### ● 資産の状況(連結)

単位:百万円

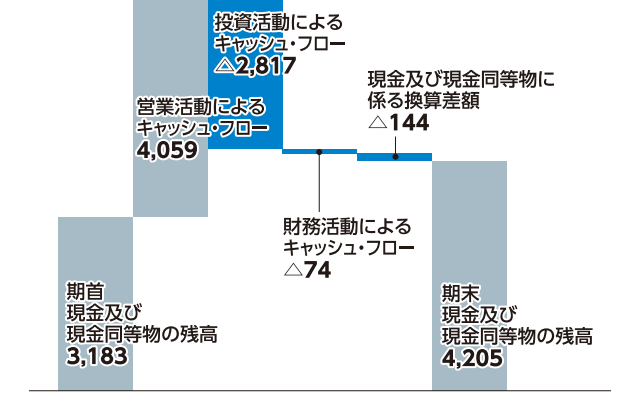
(2016年3月31日現在)



### ● キャッシュ・フローの状況

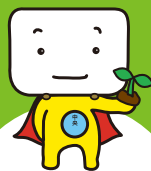
単位:百万円

(2015年4月1日～2016年3月31日)



※百万円以下は切り捨て

循環社会実現への貢献



PETボトルの  
リサイクル

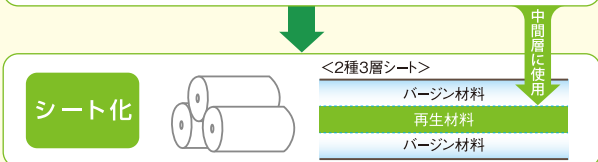
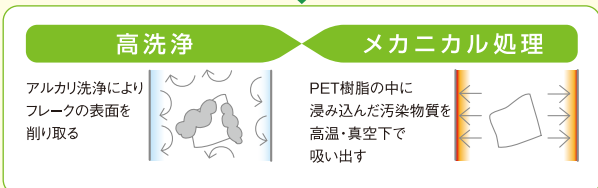
食品に直接接触する用途に使用できる環境配慮型製品

PET樹脂の循環リサイクルは世界的な傾向として拡大しています。回収される使用済みPETは貴重な資源です。

中央化学は、PET容器の素材に再生PET素材を用いるリサイクルに取り組みます。2016年、CHUO A-PET GREEN[C-APG]シリーズとして発売しました。



PETリサイクルから、C-APG製品完成までの流れ



製品化



プラスチック中に再生材料80%使用  
エコマーク認定番号  
15 118 006  
中央化学株式会社



自主規制基準

厚生労働省発出の食品用器具及び容器包装における再生プラスチック材料の使用に関する指針及びPETトレイ協議会の自主規制基準に適合しています。自主規制基準により従来のA-PET(C-AP)製品同様の食品に直接接触する用途に使用可能な製品です。

商談会開催



2016 中央化学 春の商談会  
Total coordination開催!

2016年2月10日(水)の東京会場を皮切りに、大阪、名古屋、福岡の合わせて4会場で「2016 中央化学 春の商談会」を開催しました。「トータルコーディネーション〜ためしてGood!〜」をテーマに、日々変化する市場ニーズや新たなマーケット創出へ向けた提案と、お客様が常々感じている悩み事や困り事を解決すべく、さまざまな展示や体験コーナーを設置し提案を行い、多くの来場者にご好評をいただきました。



東北営業部  
移転



東北営業部を移転し、  
さらに地産地消への取り組みを推進

当社は提案型営業を加速させるため、2016年5月6日に東北営業部を移転しました。

当営業部にはショールーム兼大会議室を併設、ショールームではスーパーマーケット、コンビニエンスストアの売り場を再現し、最新のトレンドを紹介するとともに、展示会やセミナーも開催できるスペースとなっています。

2015年11月に東北工場が再稼働したことに伴い、地産地消の取り組みをより活発に推進して参ります。

売り場を再現した  
ショールームも  
併設



新住所 〒984-0032 宮城県仙台市若林区荒井字遠藤121-1  
TEL : 022-287-6061  
FAX : 022-288-5582

グローバルな視野と地域に合わせた視点で  
「安全・安心」のブランド力と総合力を活かし、継続的拡大を目指す

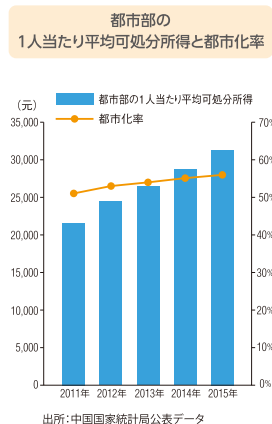


環菱中央化学管理有限公司  
総経理 郁 方銘

プラスチック食品容器は流通、家庭の食シーンを大きく変化させました。当社は、拡大する中国市場において日本で培った技術、デザインそして安全性を優先した製品で消費者の生活向上に貢献しています。

今後中国経済が発展し、都市化がさらに進んでいくに伴い、中間所得層以上の人口が増え、プラスチック食品容器の需要は伸び続けていくことが予測されています。

中国でもますます食の安全への関心が高まっており、今後も当社製品の需要は伸びていくことが期待されます。当社は中国全土で事業展開する総合力を活かし、グローバルな視野と地域に合わせた視点で安全・安心な食品容器を提供して参ります。



新素材・新製品の開発による競争力の向上

当社は、競合他社との差別化を図るため、日本で好評をいただいている断熱積層発泡素材『SD』を中国でも開発し、2015年度より販売開始しました。

当社は中国においても、プラスチック食品容器のフロンティアとして、お客様の満足に常に応えるべく、日本品質の製品を展開します。



New arrival  
新製品紹介

なごみ



手作り弁当のような可愛い小判形状、女性の心を掴みます！

女性の手のひらサイズの2段弁当です。

中皿は、適度な深さで盛り付けやすく、つまみがあるので取りやすい形状です。主菜がおいしそうに見える「なごみ」が登場しました。

●カラーバリエーション



黒+赤で和風に！  
赤+白で華やかに！  
白+黒でスタイリッシュに！

Sail (セイル)



あの店で食べた、あの料理を食卓に！

柔らかな動きと美しい曲面をモチーフにした今までにないスタイリッシュなデザインの「Sail」。持ちやすさを考え、側面に指のかかるリブを設けました。SDの素材感を活かした陶器のような上質感でワンランクアップの食シーンを楽めます。

●色柄



●形状

